



水面をスイスイと移動するアメンボ、朝露に濡れた植物、雨粒がコロコロと転がるハスの葉など、
 いろいろな昆虫や植物の濡れを見ることができます。
 このような昆虫や植物の濡れの現象を理解することは



私たちの日常生活を含めて自然を広く深く理解することにもつながります。
 講演では、アメンボやハスの葉の濡れの現象を例として、水に濡れる・濡れない表面の仕組みはどうなっているのか



物理と化学の立場から考えたいと思います。

2017年9月2日 (土)

昆虫や植物の濡れを 物理と化学から考える

旭川医科大学 医学部化学教室

眞山 博幸

BIO MIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー

会場：北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」
 札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分

主催：北海道大学総合博物館
 共催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」
 高分子学会北海道支部
 協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館
 060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
 問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX. 011-706-4029
 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

